

第 12 章 平成 28 年度決算報告

1 概 要

当院は、地域の基幹病院として富士宮市民をはじめ山梨県を含む近隣市町住民の高度かつ多様化する医療需要に対応し、良質な医療を提供すべく、医療体制の充実、医療及び看護水準の向上、開業医との病診連携を促進し、また施設及び高度医療機器の整備に努めてまいりました。

当院も近年の全国的な医師不足、医師の大都市や大病院への偏在化の影響等を受け、一部の診療科において診療体制の縮小を余儀なくされ、昨年度に引き続き純損失を計上しました。

このような状況のなか、麻酔科及び小児科の常勤医師の確保や各診療科における積極的な入院及び外来患者の受け入れ、また昨年度策定した富士宮市立病院経営改善計画を実施し、収益が増加したことにより、純損失が昨年度に比べ半減する結果となりました。今後も医師確保対策を最優先課題としながらも、病院職員一丸となって経営改善に取り組んでおります。

診療体制が縮小している整形外科において、正規医師 2 人体制のなか、手術件数は 366 件（前年度比 189 件増、106.8%増）、入院患者数は 8,138 人（前年度比 4,895 人増、150.9%増）と前年度と比較して、多くの患者さんの治療に当たりました。しかしながら、依然として二次救急の患者受け入れについては、当院の地域医療連携室や救急室、富士宮市救急隊、救急医療センター並びに開業医が連携し、県東部から中部地区の入院施設のある病院に、当市の整形外科関連の患者を受け入れていただいております。患者の負担軽減に努めております。

また、将来の医師及び看護師等の確保目的として平成 25 年度から実施している「富士宮市医学生修学資金貸与事業」及び「富士宮市看護学生修学資金貸与事業」では、新たに医学生 2 人、看護学生 9 人に対して修学資金の貸与をしました。

施設設備につきましては、施設の長寿命化の一環として、平成 24 年度から順次老朽化した空調設備の更新を計画的に実施していくこととし、本年度はボイラ設備及び人工透析室系統の空調設備機器を更新しました。

医療機器につきましては、マルチスライス CT を更新し、最新の医療機器による効果的な検査、治療に対応できるよう努めました。

入院部門では、入院患者一人一日当たりの診療報酬額は前年度と比較して 1,453 円の減額となりましたが、延べ入院患者数の増加（前年度対比 2,618 人 2.9%増）により、入院収益は、4,122 千円（0.1%増）の増収となりました。また、外来部門では、外来患者一人一日当たりの診療報酬額は前年度と比較して 830 円の増額となりましたが、外来患者数の減少（前年度対比 13,989 人 9.2%減）により、外来収益は、185,436 千円（5.7%減）の減収となりました。

一方で医師数等の増加により給与費 230,503 千円（5.1%増）及び医業外費用 11,537 千円（3.5%増）の増加となりました。この結果、平成 28 年度は 609,438 千円の純損失となり、繰越欠損金 1,242,649 千円を加えた当年度未処理欠損金は 1,852,087 千円となりました。

2 業 務

(1) 事業収入に関する事項

医業収益は、前年度対比 2.1%（167,681 千円）減少し 7,919,261 千円となり、病院事業収益全体では、前年度対比 0.7%（66,303 千円）減少し 8,806,775 千円となりました。

(2) 事業費に関する事項

医業費用は、前年度対比 0.6%（57,123 千円）増加し 9,030,117 千円となり、病院業費用全体では、前年度対比 0.8%（72,853 千円）増加し 9,416,213 千円となりました。

3 会 計

(1) 重要契約の要旨

平成 28 年度中の契約のうち 1 件 100 万円以上の契約は、以下のとおりです。

ア 建設改良費

(単位 円)

契 約 の 内 容	金 額	契 約 の 相 手 方
平成 28 年度富士宮市立病院ボイラ設備更新工事(工事費)	50,760,000	(株)テクノ菱和静岡支店
平成 28 年度富士宮市立病院人工透析室系統空調設備更新工事(工事費)	16,740,000	(有)諏訪邊電業社

イ 医療器械器具

(単位 円)

契 約 の 内 容	金 額	契 約 の 相 手 方
マルチスライスCT	248,346,000	バイオニック(株)
手術顕微鏡	28,080,000	協和医科器械(株)沼津支店
内視鏡機器一式	17,388,000	同 上
麻酔器(2式)	14,256,000	ディーブイエックス(株)
モニタリングシステム	12,957,840	協和医科器械(株)沼津支店
超音波診断装置	11,826,000	同 上
多用途透析用監視装置(3式)	10,270,800	(株)ムサシエンジニアリング静岡営業所
電気手術装置	7,344,000	協和医科器械(株)沼津支店
麻酔器一式	6,048,000	ディーブイエックス(株)
神経刺激モニター	4,924,800	協和医科器械(株)沼津支店
無影灯	4,104,000	同 上
電気手術装置	3,423,600	同 上
新生児聴覚スクリーニング装置	3,175,200	同 上
保育器一式	3,002,400	同 上
人工呼吸器一式	2,840,400	同 上
超音波白内障手術装置用ハンドピース	2,635,200	同 上
食器消毒保管庫	2,523,960	ニチワ電機(株)
ウォーターブランケット型体温管理装置	2,397,600	協和医科器械(株)沼津支店
搬送用保育器(2式)	3,780,000	同 上
ポバーステーブル(2台)	1,641,600	同 上
ベッドサイドモニタ	1,509,840	同 上
3クランクギャッジベッド(5台)	1,176,660	(株)いわしや錦織医科器械
静止型マットレスナッキー(17枚)	1,119,960	(株)八神製作所三島営業所

ウ 備品

(単位 円)

契約の内容	金額	契約の相手方
無停電電源装置	6,631,200	(株)マコト電機
医用画像参照用ディスプレイ等	4,617,000	日本電気(株)沼津支店
回転乾燥機	3,780,000	日本アサヒ機工(株)
インターネット用パソコン	1,608,768	日興通信(株)沼津支店
外部デバイス制御ソフト	1,574,640	同 上
院内ネットワーク用リモート保守システム	1,108,080	(株)TOKAI コミュニケーションズ

(2) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

企業債は、高度医療機器整備事業債 248,300 千円を借り入れました。
なお平成 28 年度中の企業債の概況は以下のとおりです。

借入先	前年度末 未償還残高	本年度借入額	本年度償還額	本年度末 未償還残高
地方公共団体金融機構	197,800,000	248,300,000	0	446,100,000
計	197,800,000	248,300,000	0	446,100,000

イ 一時借入金

該当事項はありません。

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項はありません。

4 その他

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項はありません。